

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ちゅうぶさんがく） 中部山岳森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、中部山岳森林計画区の松本市を含む4市1町5村に所在する101,997haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、長野県の北西部に位置し、森林の現況は人工林18%、天然林82%となっており、コメツガ等の亜高山性の針葉樹を主体とした天然林比率が高くなっている。人工林は、カラマツが71%、スギ5%、ヒノキ18%である。</p> <p>当計画区は、森林率が79%と高く、苗木、キノコ、ワサビ等の生産が盛んな地域であるとともに、「日本の屋根」といわれる北アルプスをはじめとした日本を代表する山岳地帯である。</p> <p>計画区の西側は中部山岳国立公園、北東側は上信越高原国立公園、東部はハケ岳中信国定公園に指定されており、森林浴、スキー、登山等保健休養の場として広く国民に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>また、当計画区は、「糸魚川-静岡構造線」沿いにおいて、地質的に脆弱な急傾斜地が多いため、森林の9割以上が保安林に指定されており、このうち、土砂流出防備や土砂崩壊防備等の保安林が45%を占めている。</p> <p>このようなことから、当計画区においては、水源のかん養、国土保全、山地災害の防止をはじめ、自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの森林の有する多面的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%;">26 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,249 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.2 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.0 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,415,283 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	26 ha			保育面積	3,249 ha		路網整備	開設延長	7.2 km			改良延長	2.0 km	総事業費			1,415,283 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	26 ha																				
		保育面積	3,249 ha																				
	路網整備	開設延長	7.2 km																				
		改良延長	2.0 km																				
総事業費			1,415,283 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	14,143,396 千円																					
	総 費 用（C）	1,871,709 千円																					
	分析結果（B / C）	7.56																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：中部森林管理局

事業実施地区名：中部山岳森林計画区（ちゅうぶさんがく）

中信森林管理署

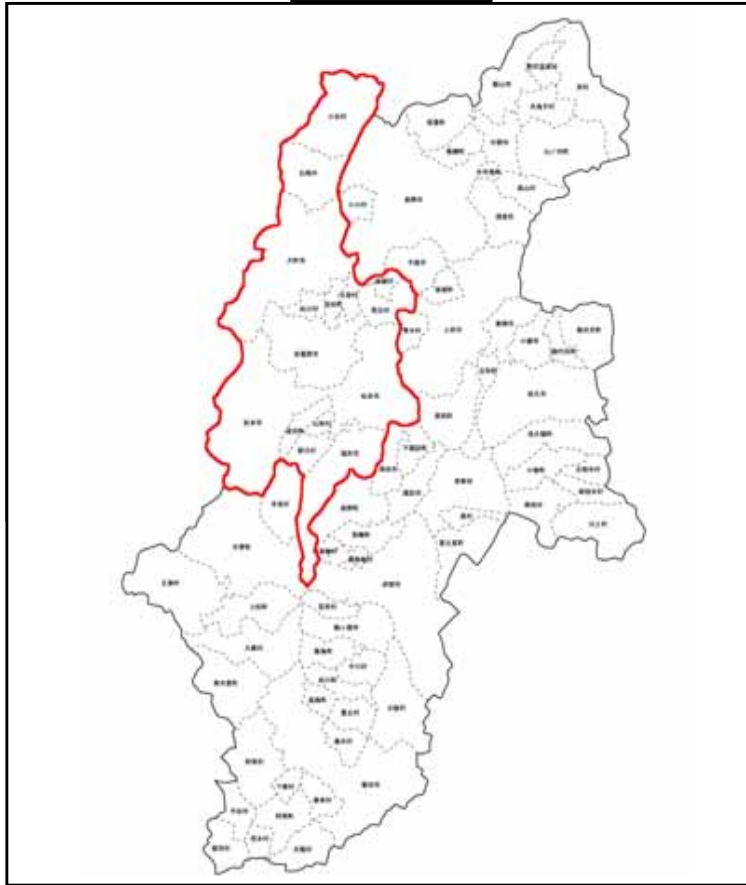
（都道府県名：長野県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,286,472	
	流域貯水便益	778,734	
	水質浄化便益	1,329,440	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,384,546	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	804,510	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	167,472	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	573,251	
	木材利用増進便益	115,510	
	木材生産・確保増進便益	2,527,672	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	62,080	
	森林管理等経費縮減便益	118	
	森林整備促進便益	98,778	
維持管理費縮減便益		14,813	
総便益(B)		14,143,396	
総費用(C)		1,871,709	
費用便益比(B/C)		7.56	

森林環境保全整備事業 中部山岳森林計画区(長野県) 概要図

長野県



対象計画区拡大図

